

#12

プログラム名	フロアーホッケー
会場名	江東養護学校(東陽町)
主任コーチ	大池 千歳
マネージャー	清水 ちはる/木村 小百合
ボランティア担当	
参加アスリート数	約 20 人 (うち 重度障害 約 0 人) 毎回の練習には5~15人程度参加
年齢構成	小学生(約 0 人)、中学生(約 2 人)、高校生(約 0 人)、社会人(約 18 人)
ボランティア数	約15人(固定メンバー 約15人)(ファミリーボランティア 約1人) サポートファミリーは数人毎回の練習には4~8人程度が参加
年齢構成	大学生以下(約 1 人)、社会人(約 10 人)、主婦(約 人)、シニア(約 2 人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習前にアスリートと一緒にコート設営をする。(床にラインテープを貼る、ゴールを組立てる。)練習に参加する。 アスリートにとって競技の指導者または練習仲間であり、ライバルであり、スポーツマンシップの手本となる。
競技指導のやり方	競技委員長の考えた練習メニュー実施。基本的に全体で同じ練習。技術レベルの低いアスリートには必要に応じて個別対応。ゲームは技術レベルに応じてチーム分け、または個人スキルの練習。練習内容例：ジョギング、ストレッチ、ドリブル、ターン、パス、シュート、ディフェンスなど。パスを受けてのランニングシュート、ゴール裏からのブレイクアウトなどのフォーメーション。ゲーム(2~3ライン)。
既存ボランティアの競技レベル	アイスホッケー競技経験者2人、バスケットボール指導経験者1人ほかはバスケットボール、バレーボール、テニス、ラグビー、野球、など他の競技経験者、スポーツ経験がないが、興味を持って初めた方
既存ボランティアの参加頻度	2/3程度の参加・・・5人程度、1/2程度の参加・・・6人程度、1/3程度の参加、またはそれ以下・・・残り
希望するボランティアの競技レベル	①スポーツが好きな人で、一緒に練習に参加してくれる人。 ②チーム競技の練習メニューを立てたり、技術指導ができる人。(アイスホッケー、グラウンドホッケー経験者さらに嬉しい) ③チームサポートマネージャーの仕事ができる人。
ボランティアに希望するジョブ	コーチ (毎回練習に参加できなくても、競技の基本的な練習のサポートで可) プログラム運営の業務分担(出欠管理、安全管理、競技会運営など) 一緒にフロアーホッケーを楽しむ (アスリートやファミリーと一緒に練習外のイベントをしたり、コーチだけで試合に参加したりもしています)